

島根県の経済動向

平成21年9月28日

政策企画局統計調査課

平成21年7月分

先月からの主要変更点 なし

	7月分	6月分
総括判断	<p>本県経済は、一部で緩やかながら持ち直しの動きがみられるが、全体としては厳しい状況にある。</p> <p>生産活動は緩やかながら持ち直しの動きがみられるが、雇用情勢は厳しい状況、個人消費は低調な動きとなっており、投資動向も基調としては弱い動きが続いている。</p>	<p>本県経済は、一部で緩やかながら持ち直しの動きがみられるが、全体としては厳しい状況にある。</p> <p>生産活動は緩やかながら持ち直しの動きがみられるが、雇用情勢は厳しい状況、個人消費は低調な動きとなっており、投資動向も基調としては弱い動きが続いている。</p>
個別項目		

島根県の経済動向

平成21年7月分

平成21年 9月28日
政策企画局統計調査課

一本県経済は、一部で緩やかながら持ち直しの動きがみられるが、
全体としては厳しい状況にある。

生産活動は緩やかながら持ち直しの動きがみられるが、雇用情勢は厳しい状況、個人消費は低調な動きとなっており、投資動向も基調としては弱い動きが続いている。

生産活動	→	～緩やかながら持ち直しの動き～	鉱工業生産指数（季節調整済指数）は81.8、対前年同月比は▲21.5%となり、また、大口電力需要実績も▲22.0%となるなど、いずれも低い水準ではあるものの減少幅は徐々に縮小しており、生産活動は、緩やかながら持ち直しの動きがみられる。
雇用情勢	→	～厳しい状況～	有効求人倍率は0.61倍とわずかながら上昇し、新規求人数は▲5.2%と減少幅が縮小したが、常用労働者数は2か月振りに、きまって支給する給与も2か月振りに前年を下回り、所定外労働時間（製造業）も▲39.5%と引き続き前年を大幅に下回るなど、厳しい状況が続いている。
個人消費	→	～低調な動き～	大型小売店販売額は7か月連続、家電量販店販売額は2か月連続で前年を下回り、ホームセンター販売額は13か月振りに前年を下回った。乗用車新車登録台数は対前年同月比▲0.5%と持ち直したものの、個人消費は低調な動きとなっている。
投資動向	→	～基調としては弱い動き～	建築着工床面積は2か月連続で前年を下回り、公共工事請負金額は3か月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数は5か月連続で前年を下回っており、基調としては弱い動きが続いている。
企業倒産	→	～倒産件数6件～	企業倒産件数は6件。うち建設業は3件、製造業は0件。
金融情勢	→	～貸出金残高は対前年1.6%増～	銀行預金残高は13か月連続で前年を上回った。 銀行貸出金残高は3か月連続で前年を上回った。
物 価	→	～対前年2.1%下落～	消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）は100.5となり、対前年同月比2.1%減と5か月連続の下落となった。
その他 (参考)	島根県景気動向指数 (平成21年9月28日公表)		景気動向指数の先行指数は2か月連続で50%ラインを上回った。 一致指数は3か月連続で50%ラインを上回った。
	法人企業景気予測調査結果 (平成21年9月17日公表)		財務省松江財務事務所の景況判断BSIは、現状(21年7～9月期)は▲12.1%ポイントと前期に比べ「下降」超幅が大幅に縮小している。 先行きについては、翌期(10～12月期)に「下降」超幅がわずかに拡大し、翌々期(22年1～3月期)には「下降」超幅が縮小する見通し。

経済指標	前年同月比（*を除く）%						
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
生産活動	* 鉱工業生産指数（季節調整済指数）	68.7	67.4	72.8	72.9	76.2	81.8
	” (原指数)	▲35.9	▲32.0	▲29.2	▲28.5	▲22.9	▲21.5
	大口電力需要実績	▲37.7	▲37.6	▲26.4	▲25.9	▲23.3	▲22.0
雇用情勢	* 有効求人倍率（倍）	0.62	0.57	0.59	0.58	0.59	0.61
	新規求人数	▲15.6	▲14.0	▲18.5	▲28.3	▲13.1	▲5.2
	常用労働者数	0.0	▲0.9	▲0.2	▲0.6	0.5	▲0.5
	現金給与総額	▲0.6	0.6	▲0.7	▲0.2	▲1.6	0.0
	きまって支給する給与	▲0.8	▲1.3	▲0.6	▲0.4	1.0	▲0.8
	所定外労働時間（製造業）	▲61.3	▲62.3	▲56.3	▲51.2	▲46.7	▲39.5
個人消費	大型小売店販売額	▲6.8	▲2.9	▲5.2	▲3.3	▲7.9	▲8.6
	ホームセンター販売額	4.7	2.3	6.3	5.0	1.6	▲7.4
	家電量販店販売額	▲3.2	▲6.2	▲14.4	3.7	▲4.9	▲6.8
	乗用車新車登録台数	▲19.7	▲16.6	▲24.0	▲21.6	▲7.0	▲0.5
	出雲空港利用者数	▲8.0	▲1.4	▲14.4	▲9.9	▲12.7	▲7.5
投資動向	建築着工床面積（非居住用）	84.8	▲80.3	▲61.3	83.6	▲79.4	▲12.9
	公共工事請負金額	19.4	52.9	194.4	▲12.2	▲9.7	▲23.4
	新設住宅着工戸数	17.2	▲7.8	▲56.4	▲29.0	▲21.1	▲13.3
企業倒産	* 企業倒産件数（件）	6	5	3	3	6	6
	* 負債総額（百万円）	493	198	1,235	570	777	271
金融情勢	銀行預金残高	2.6	1.1	2.2	2.0	0.8	1.0
	銀行貸出金残高	1.3	▲0.7	▲0.2	0.2	0.0	1.6
物 価	* 消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)	101.0	101.1	100.8	100.6	100.6	100.5
その他	* 景気動向指数(先行指数)	28.6	42.9	28.6	42.9	57.1	85.7
	* 景気動向指数(一致指数)	11.1	11.1	22.2	55.6	77.8	66.7

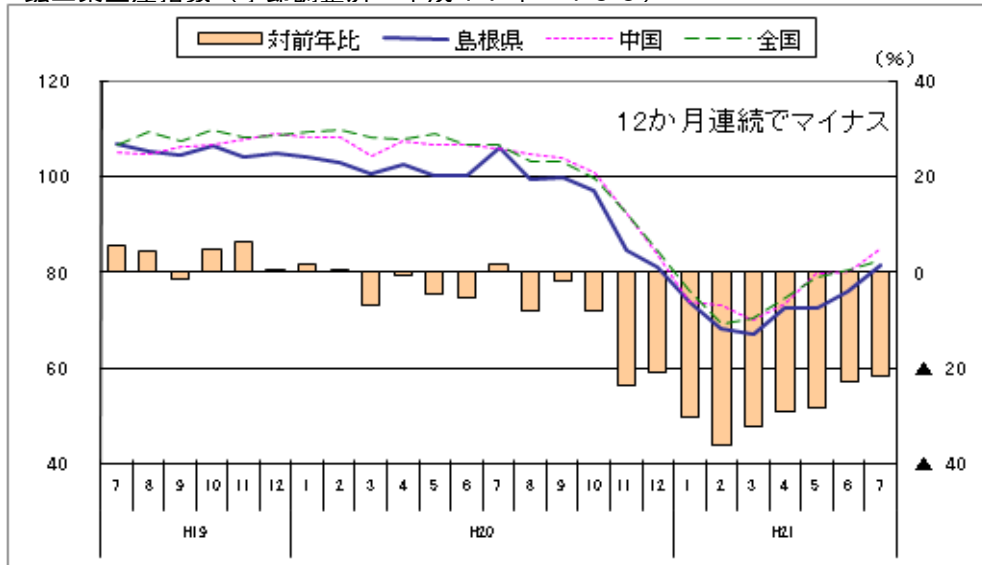
経済動向に関する他機関の公表資料（抜粋）

全 国	「月例経済報告（内閣府）」 平成21年9月8日
	<p>景気は、失業率が過去最高水準となるなど厳しい状況にあるものの、このところ持ち直しの動きがみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 輸出、生産は、持ち直している。 ・ 企業収益は、大幅な減少が続いているが、そのテンポは緩やかになっている。設備投資は、減少している。 ・ 雇用情勢は、一段と厳しさを増している。 ・ 個人消費は、このところ持ち直しの動きがみられる。 <p>先行きについては、当面、雇用情勢が悪化するなかで、厳しい状況が続くとみられるものの、在庫調整の一巡や経済対策の効果に加え、対外経済環境の改善により、景気は持ち直しに向かうことが期待される。一方、生産活動が極めて低い水準にあることなどから、雇用情勢の一層の悪化が懸念される。加えて、世界的な金融危機の影響や世界景気の下振れ懸念など、景気を下押しするリスクが存在することに留意する必要がある。</p>
中 国 地 方	「中国地域の経済動向（中国経済産業局）」 平成21年9月16日
	<p>中国地域の景気は、雇用は厳しい状況が続き、設備投資は減少しているものの、生産は持ち直しの動きがみられ、景況感は厳しい水準ながら持ち直しの動き、個人消費は低調ながら一部に持ち直しの動きとなるなど、総じて見ると、低迷しているものの持ち直しの動きがみられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生産動向…持ち直しの動き 2. 景況感…厳しい水準ながら、持ち直しの動き 3. 産業用電力需要…持ち直しの動き 4. 物価…下落傾向 5. 個人消費…低調ながら、一部に持ち直しの動き 6. 設備投資…減少 7. 建設動向…公共工事は増加、住宅建設は低調 8. 雇用動向…厳しい状況 9. 企業倒産…減少傾向 10. 貿易…持ち直しの動き
山 陰 地 方	「山陰の金融経済動向（日本銀行松江支店）」 2009年8月31日
	<p>山陰両県の景気は、なお厳しい状況にあるが、徐々に下げ止まりつつある。すなわち、生産が緩やかに回復しているほか、公共投資も高めの水準を維持している。一方、個人消費は低調な動きが続いているほか、設備投資も厳しい収益環境のもとで、大幅に減少している。また、住宅投資は水準が大きく切り下がっている。こうした中、雇用・所得情勢も、厳しい状況が続いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産は、緩やかに回復している。 ・ 個人消費は、一部に、各種政策効果による回復の動きがみられるが、天候不順もあって、全体として低調な動きが続いている。 ・ 設備投資（6月短観調査）は、厳しい収益環境のもとで、大幅に減少している。 ・ 公共投資は、高めの水準を維持している。 ・ 住宅投資は、水準が大きく切り下がっている。 ・ 雇用・所得情勢は、厳しい状況が続いている。
	「山陰経済動向（山陰経済経営研究所）」 2009年8月28日
	<p>当地の景気は、住宅建設や雇用情勢、設備投資などで厳しい状況が続くものの、生産で緩やかながら持ち直しの動きがみられるとともに、個人消費の一部でも持ち直しの動きがみられ、足元の悪化は徐々に緩やかになりつつある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共投資は、増加傾向での推移が続いている。 ・ 設備投資は、全産業でも前年度を下回る計画（日銀短観6月）。 ・ 住宅建設は、極めて低調な推移が続く。 ・ 個人消費は、低調な推移ながら、一部に持ち直しの動きもうかがえた。 ・ 生産は、足元では緩やかながら持ち直している。 ・ 雇用情勢は、総じて厳しい状況にある。 ・ 企業の業況判断は、足元、製造業がほぼ横ばいで推移したものの、非製造業が改善したことから、全産業も改善（▲60→▲55）。先行き（09年9月）については、製造業、非製造業ともに改善を予想していることから、全産業でも改善（▲55→▲47）が進む見通し（日銀短観6月）。
島 根 県	「島根県の経済情勢（財務省松江財務事務所）」 平成21年7月29日（四半期ごとに公表）
	<p>県内経済は、厳しい状況が続いているなかで、一部に下げ止まりの動きがみられる。個人消費は引き続き弱い動きとなっており、雇用情勢も有効求人倍率が低下しているなど、厳しい状況が続いている。一方、生産活動は下げ止まりの動きがみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人消費 引き続き弱い動きとなっている ・ 生産活動 下げ止まりの動きがみられる ・ 雇用情勢 厳しい状況が続いている ・ 公共事業 前年度を上回っている ・ 設備投資 21年度は減少見通し ・ 企業収益 21年度は赤字幅拡大見通し

経済指標の推移

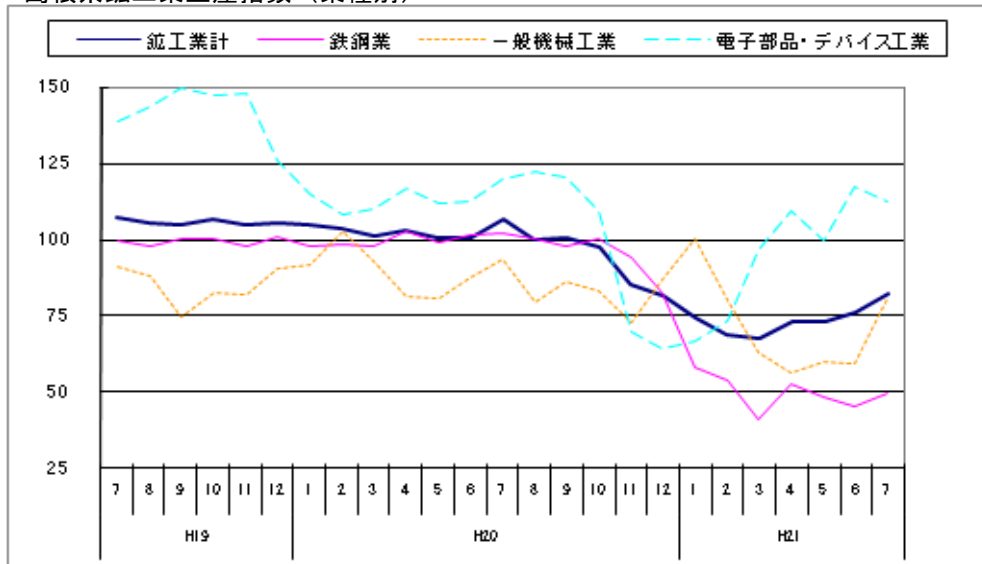
【生産活動】 ～緩やかながら持ち直しの動き～

鉱工業生産指数（季節調整済 平成17年=100）



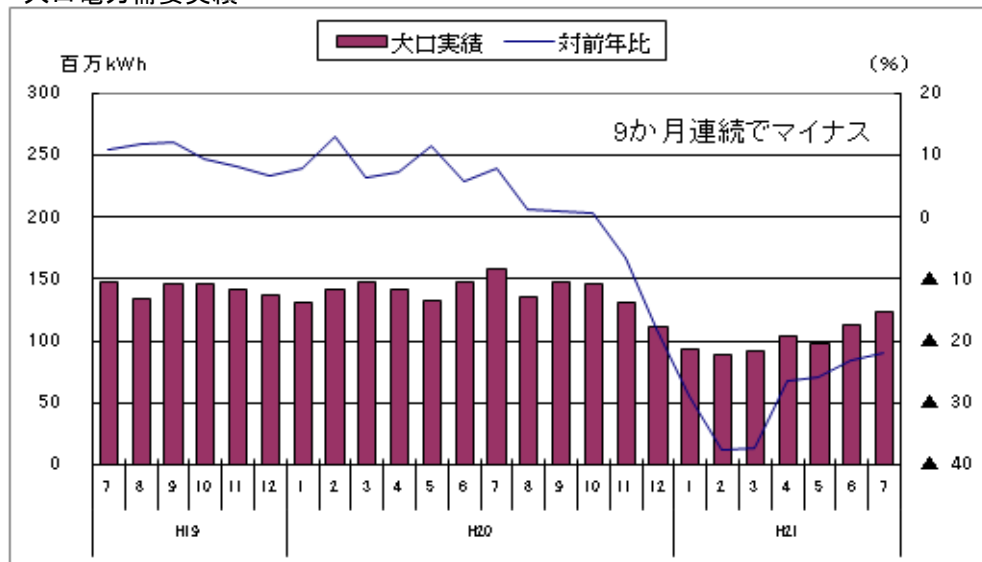
(注) 対前年比は、島根県の実指数 (県統計調査課、経済産業省)

島根県鉱工業生産指数（業種別）



(県統計調査課)

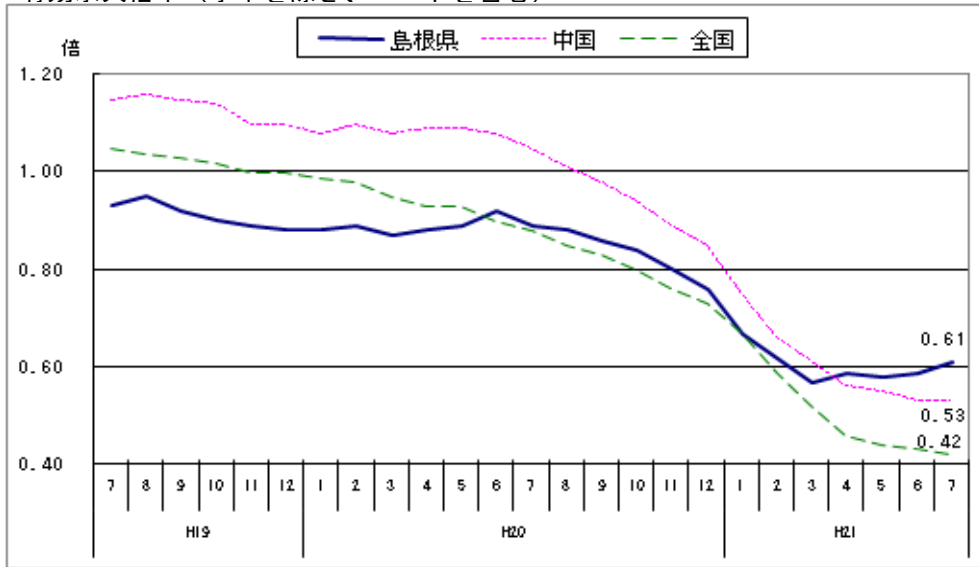
大口電力需要実績



(中国電力株)

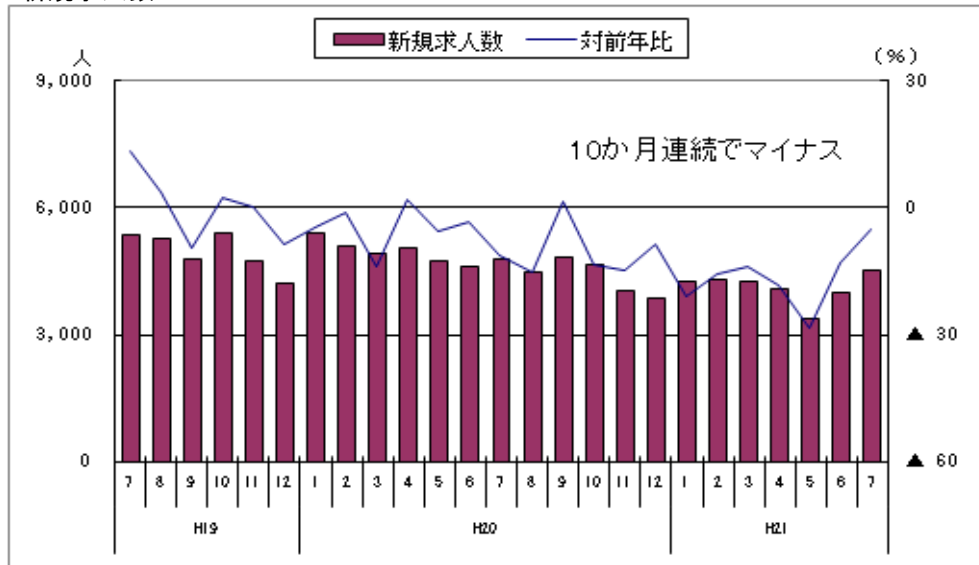
【雇用情勢】 ～厳しい状況～

有効求人倍率（学卒を除き、パートを含む）



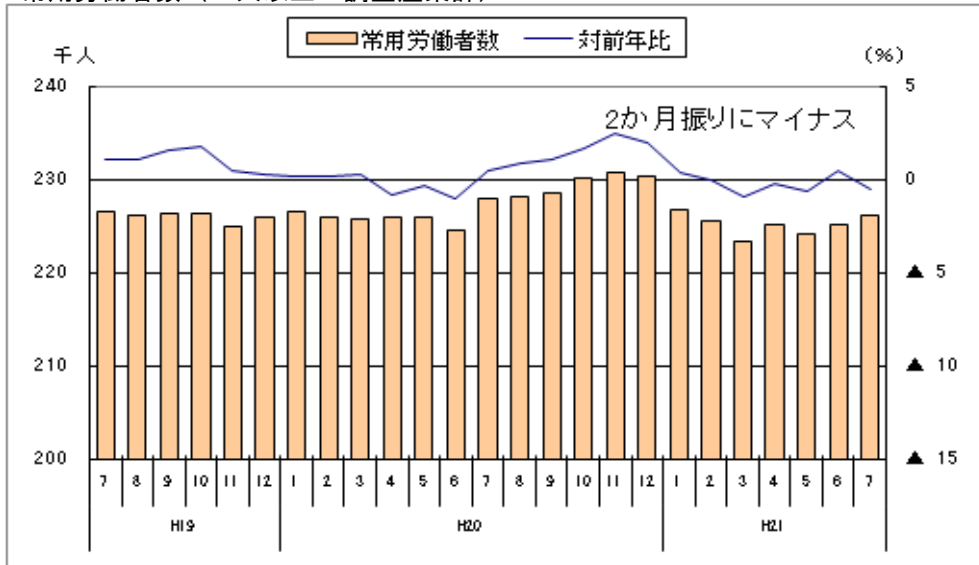
(厚生労働省)

新規求人数



(島根労働局)

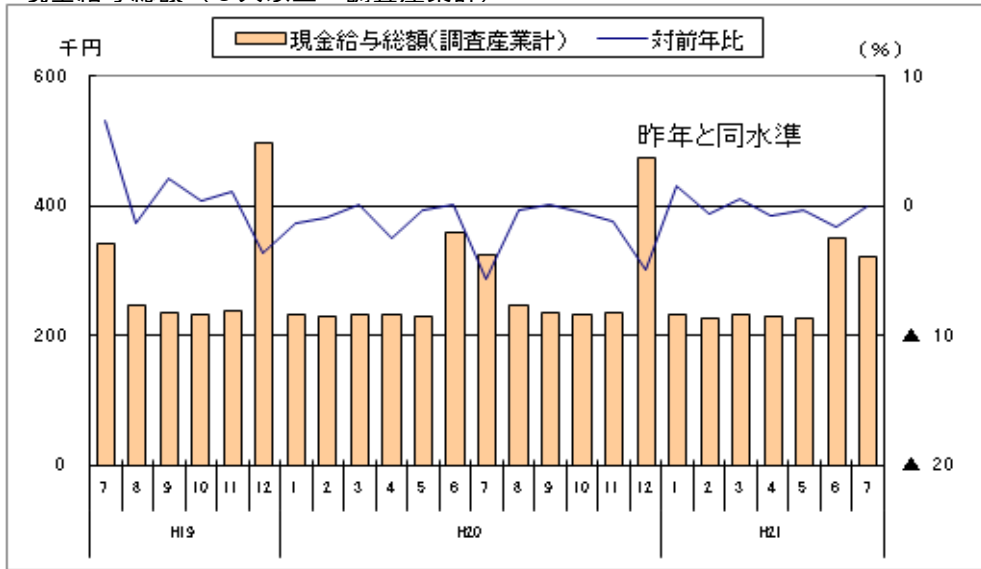
常用労働者数（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

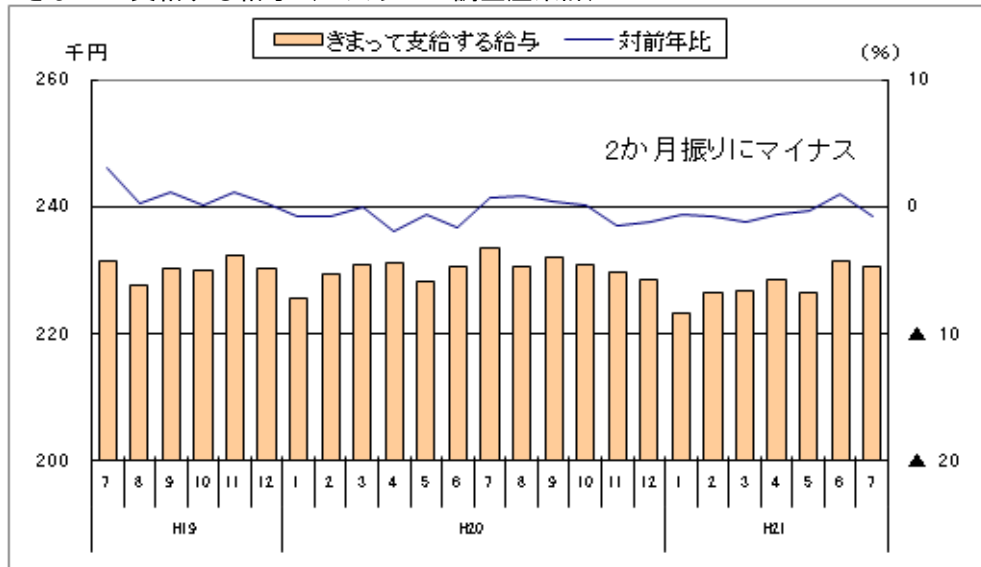
【雇用情勢】 ～厳しい状況～

現金給与総額（5人以上・調査産業計）



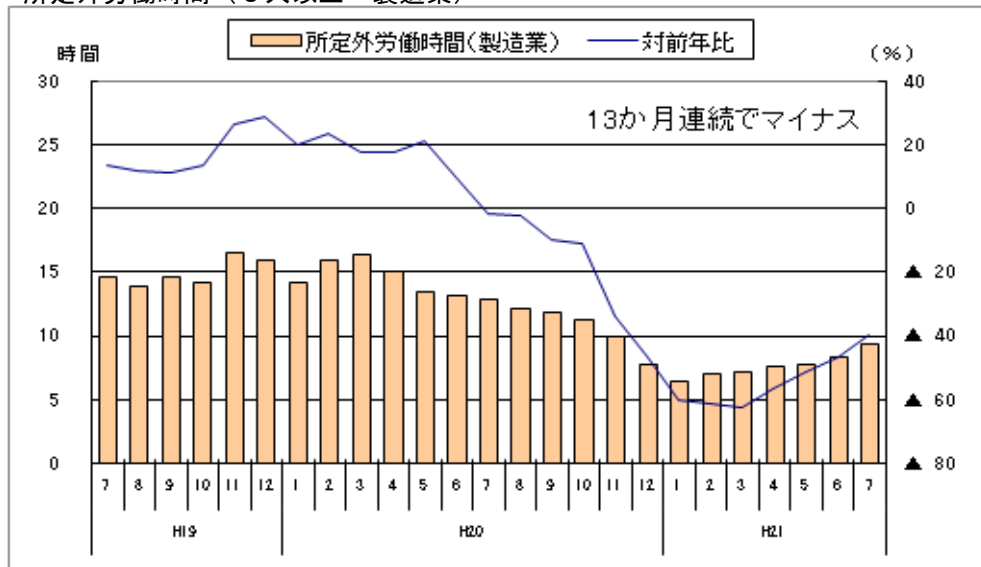
(県統計調査課)

きまって支給する給与（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

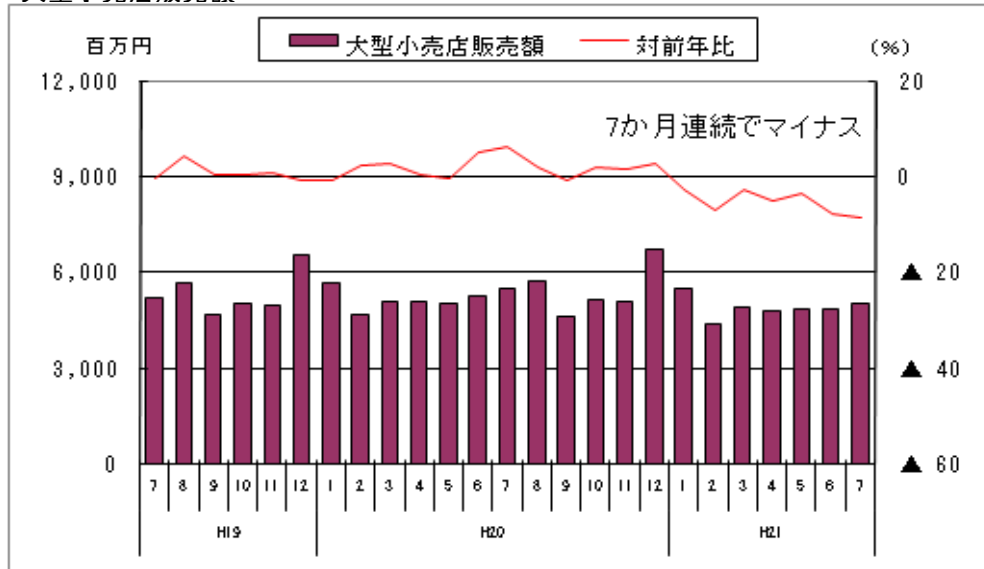
所定外労働時間（5人以上・製造業）



(県統計調査課)

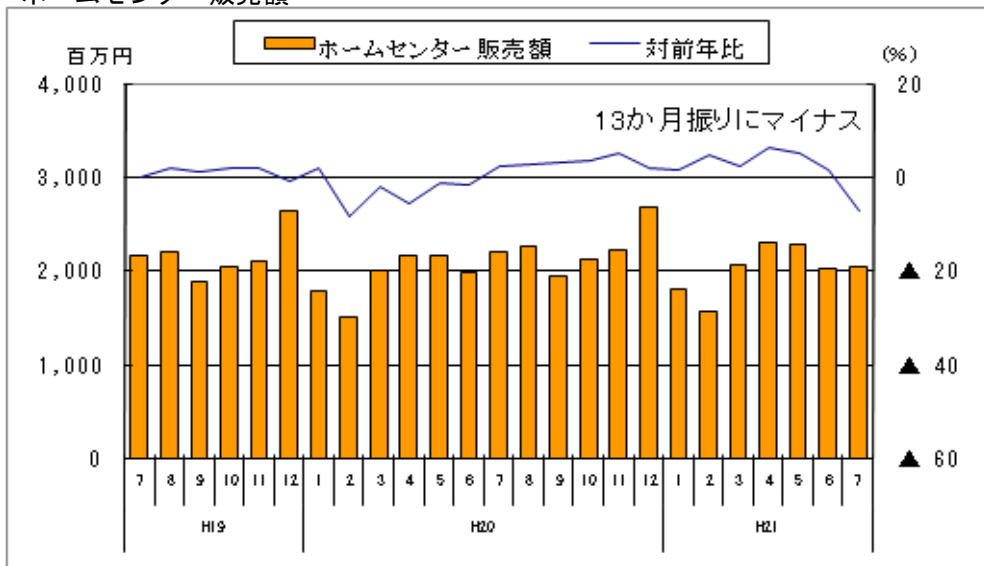
【 個人消費 】 ～低調な動き～

大型小売店販売額



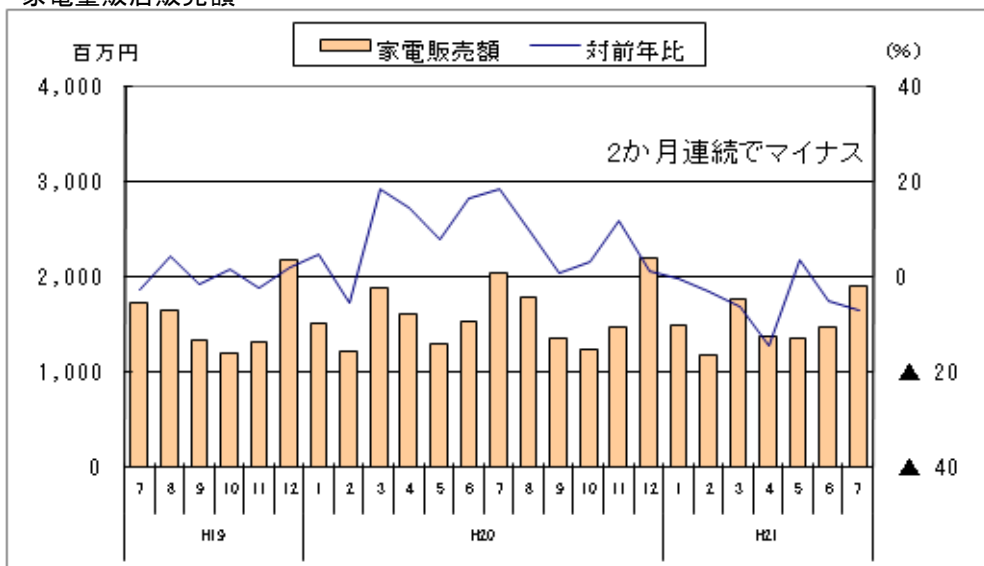
(中国経済産業局)

ホームセンター販売額



(中国経済産業局)

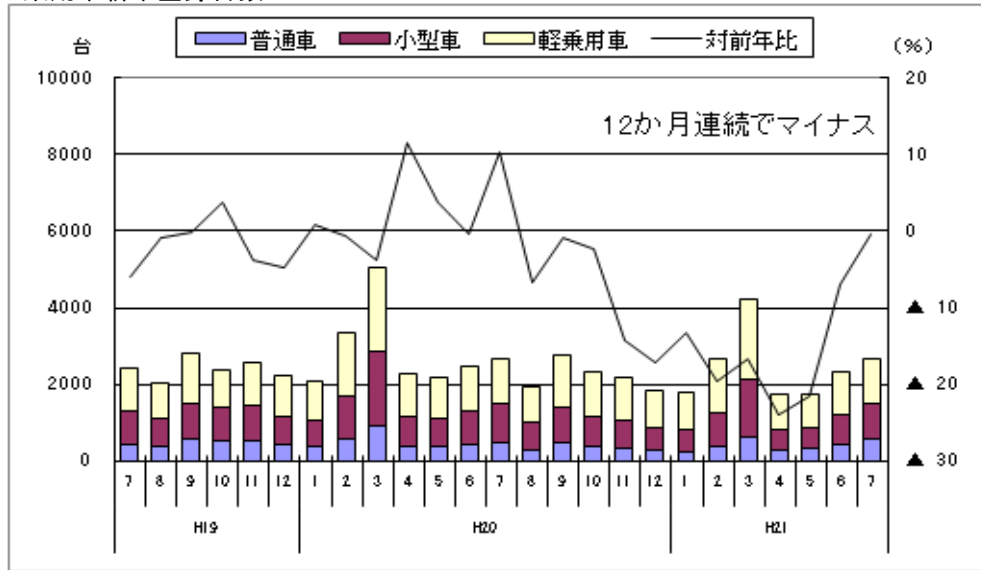
家電量販店販売額



(中国経済産業局)

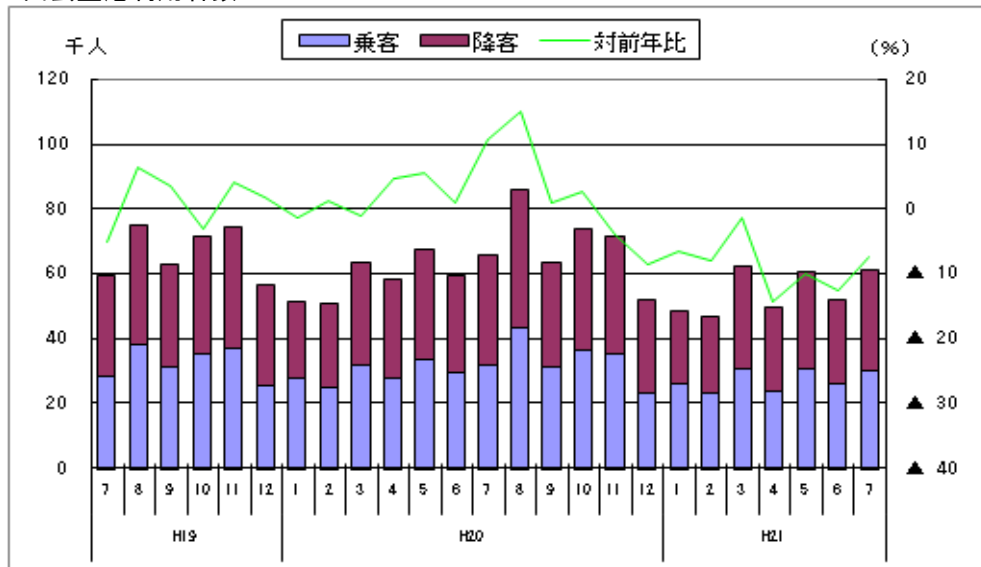
【 個人消費 】 ～低調な動き～

乗用車新車登録台数



(中国運輸局)

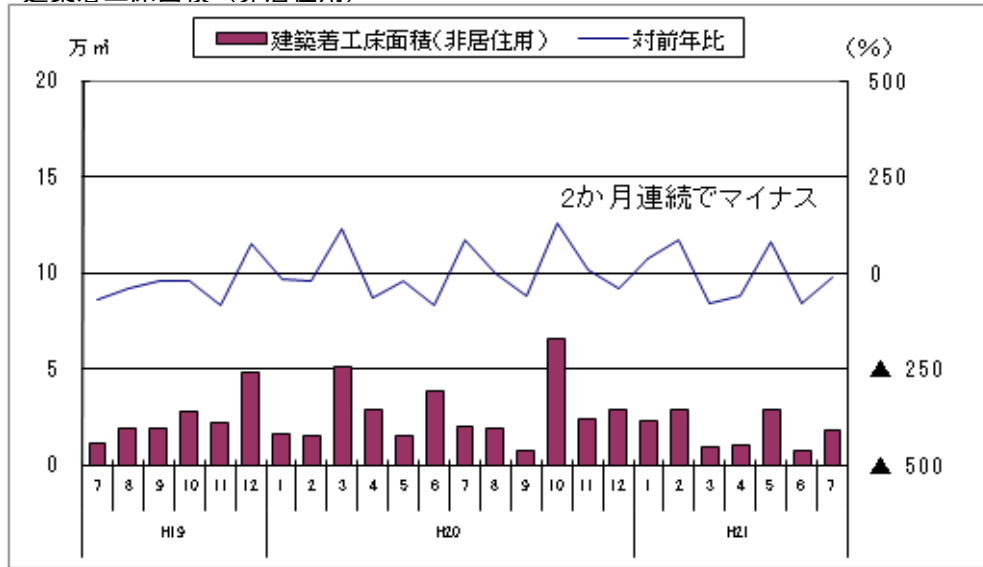
出雲空港利用者数



(県港湾空港課)

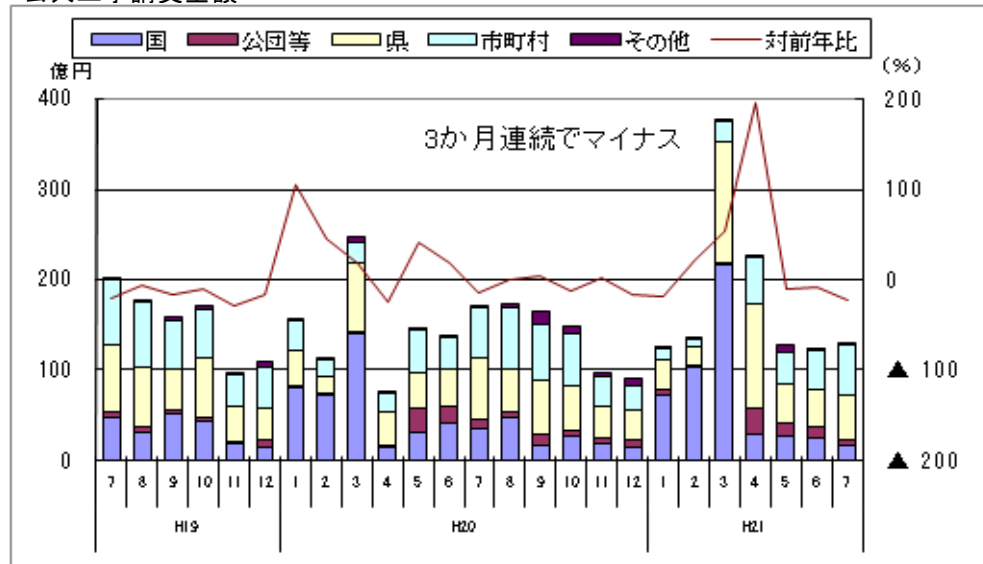
【 投資動向 】 ～基調としては弱い動き～

建築着工床面積（非居住用）



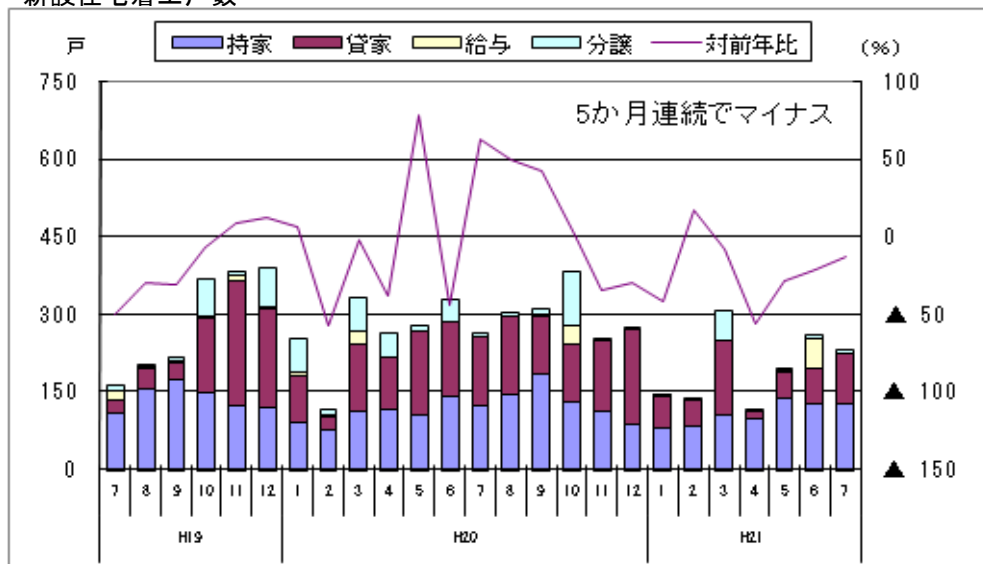
(国土交通省)

公共工事請負金額



(西日本建設業保証株)

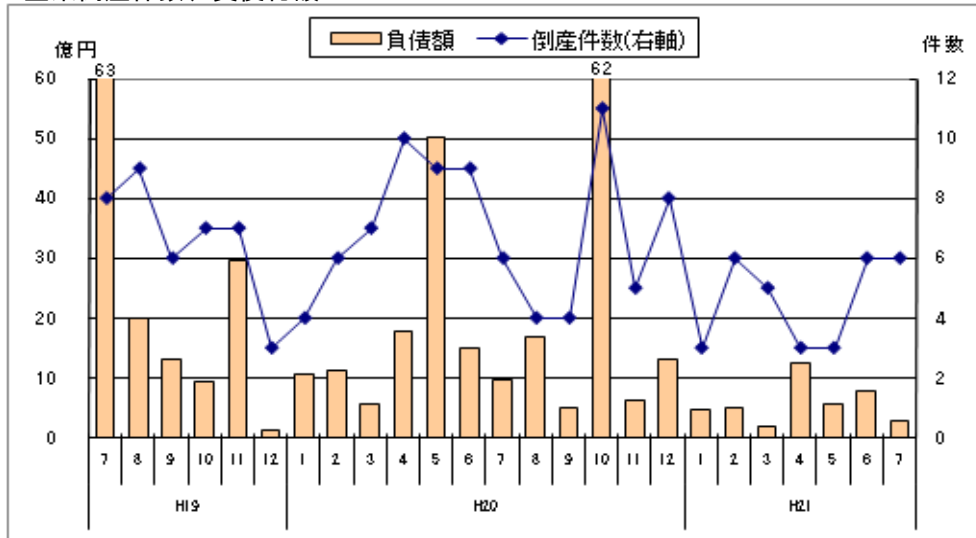
新設住宅着工戸数



(国土交通省)

【 企業倒産 】 ～倒産件数6件～

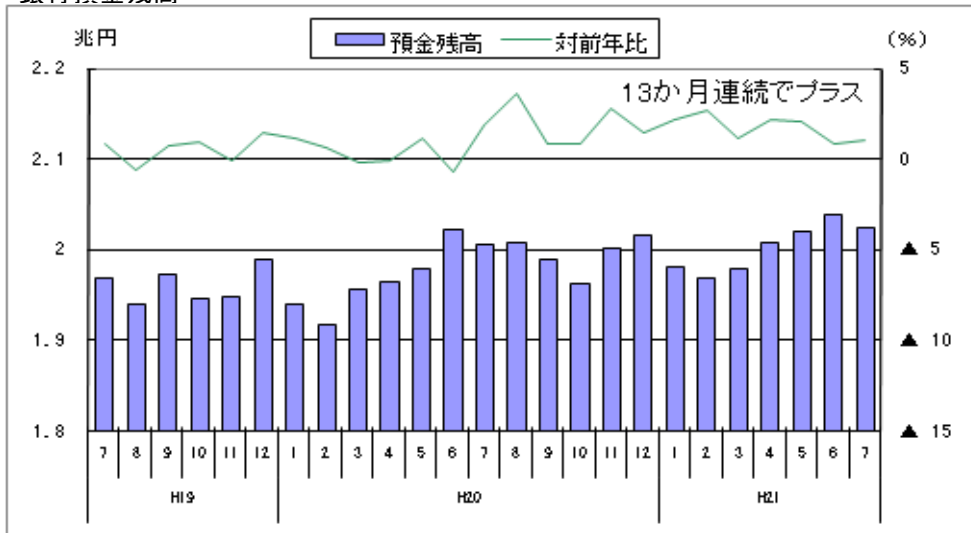
企業倒産件数、負債総額



(株)東京商工リサーチ

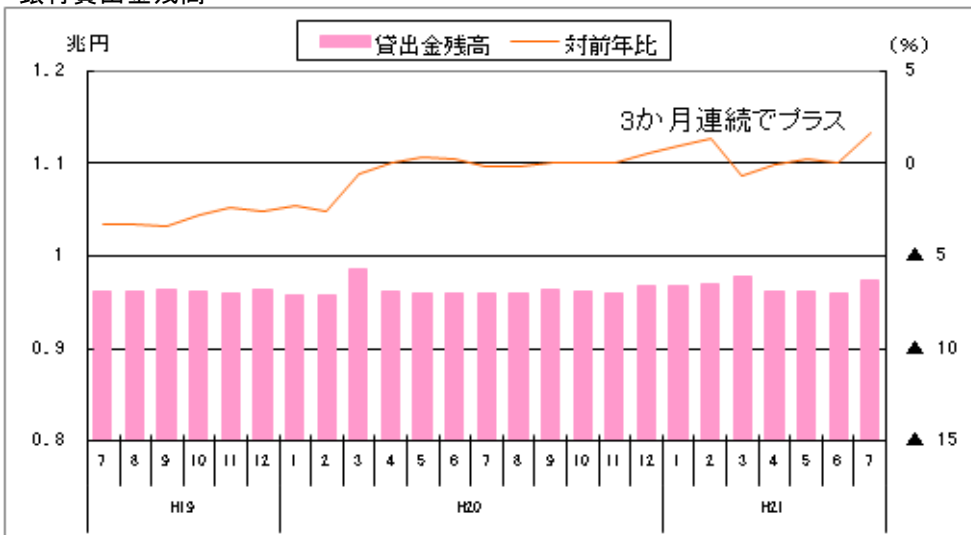
【 金融情勢 】 ～貸出金残高は対前年1.6%増～

銀行預金残高



(日本銀行)

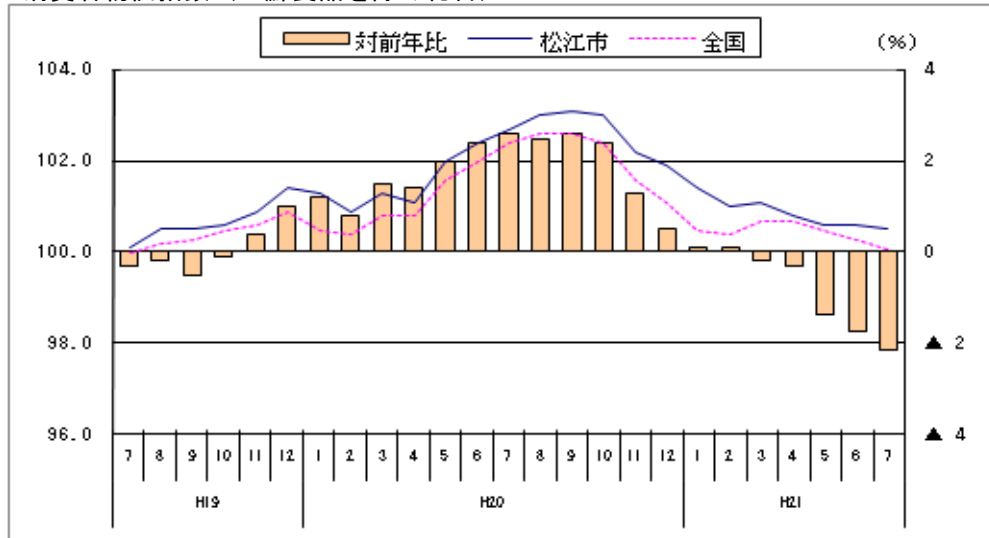
銀行貸出金残高



(日本銀行)

【物 価】 ～対前年2.1%下落～

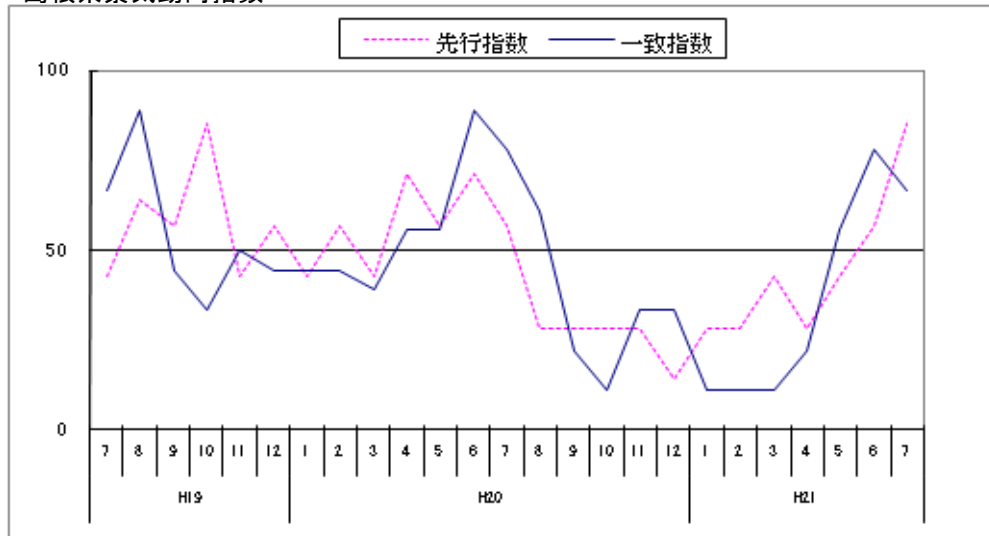
消費者物価指数（生鮮食品を除く総合） H17=100



(総務省統計局)

その他(参考)

島根県景気動向指数



(県統計調査課)

法人企業景気予測調査結果（平成21年9月17日 財務省松江財務事務所）
平成21年 7～9 月期調査

景況判断BSI

(BSI：前期比判断「上昇」－「下降」社数構成比)

(%ポイント)

区 分	21年 4～6月 前回調査	21年 7～9月 今回調査	21年10～12月 見 通 し	21年 1～3月 見 通 し
全 産 業	▲ 33.0	(▲7.0) ▲ 12.1	(1.0) ▲ 13.1	▲ 8.1
製 造 業	▲ 23.5	(8.8) 21.2	(20.6) 21.2	12.1
非製造業	▲ 37.9	(▲15.2) ▲ 28.8	(▲9.1) ▲ 30.3	▲ 18.2
大 企 業	0.0	(▲16.7) 16.7	(▲16.7) ▲ 33.3	16.7
中堅企業	▲ 28.6	(▲2.9) ▲ 11.4	(8.6) ▲ 14.3	▲ 5.7
中小企業	▲ 39.0	(▲8.5) ▲ 15.5	(▲1.7) ▲ 10.3	▲ 12.1

※ () 書きは、前回(21年4～6月期)調査時の見通し。